

トカラから奄美への船上での思い

[講師]

石塚 雅彦(ジャーナリスト)

[日時]

2016. 3. 26 (sat) 14:00-16:00

昨夏、鹿児島から乗ったフェリー十島で、鹿児島に近いある島に2、3日滞在した後、トカラの島々に点々と寄港しながら名瀬まで十数時間の船旅をしました。

私は今はやりの言葉でいえばグローバルなキャリアの人間で、新聞記者として30～40か国を訪れ、ニューヨークや香港に住んだこともあります。

しかしトカラ沿いに奄美にむかう船から海、空、島影を眺めながら、ある思いに打たれました。人生の終りになって、稲垣ナオさんが言う二重生活の人生だったことを強く意識したことです。

気持ちの上で常に中央と末端の間を往き来してきた。
奄美にいる間その思いはさらに強まりました。

Photo: Arakawa Kenichi

会費

講演：持てる者は持てるだけ(カンパ制) / 懇親会：2500円前後

場所

武蔵野市本町コミュニティセンター第2会議室(3F)
東京都武蔵野市吉祥寺本町1-22-2 / 吉祥寺北口(JR中央線・井の頭線)徒歩3分 ※今後トカラ塾の会場は吉祥寺です。

参加連絡

050-7542-2018 (稲垣一雄)
info@tokarajuku.ne.jp
※懇親会のみ参加の方は上記アドレスにご連絡ください。

主催

文化結社トカラ塾 (<http://www.tokarajuku.sakura.ne.jp/>)

